

令和3年度
札幌市民交流プラザ
事業報告書

公益財団法人 札幌市芸術文化財団

目 次

I	管理業務の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・	1
II	管理業務に係る収支決算・・・・・・・・・・・・	18
III	管理に関する協定書 第33条に規定する自主事業の実施状況・・	19

I 管理業務の実施状況

1 統括管理業務

▽ 管理運営に係る基本方針の策定

「文化芸術活動及び生涯学習の振興並びに人々の来訪及び交流の促進を図り、もって市民の創造性を育むとともに、市民生活の向上を実現するほか、地域のにぎわいの創出に寄与する」というプラザの設置目的に基づき、以下の6つの基本方針を策定した。これを基に、当財団だからこそ実現可能な主催事業や当財団が管理運営を行う他施設との連携事業などを通じて、市民の多様なニーズを捉えたオリジナリティに溢れた施設運営に取り組んだ。

- ① 良質かつ多彩な文化芸術の提供と北海道発の文化芸術の創造
- ② 文化芸術の水準を高める拠点としての役割
- ③ 今後の文化芸術を担い、支える人々の育成
- ④ すべての人々が文化芸術を享受できる開かれた施設
- ⑤ あらゆる人々がつながり、交流するにぎわいの空間
- ⑥ 安全・安心・快適な施設環境の提供

▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績

▼ 札幌市の公の施設であることに鑑み、公平性を重視した運営を行うため以下の方針を策定し、実施した。

- ① 公開抽選による施設申込
利用月 13 か月前の一斉受付による申込受付
- ② 随時予約による施設申込
一斉受付終了後、空き施設を先着順で受付
- ③ 優先受付による施設申込
長期の準備が必要かつ大規模な事業に限り、24 か月前の受付

▼ 特定団体の専有を防止し、多くの利用者への平等な利用を実現するため、連続利用を原則7日以内に制限している。

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

▼ 「札幌市環境基本計画」に順じ、環境保護、コストの縮減、職員への環境意識の徹底に努めた。

具体的には、照明に関して、設備員との打合せを密にし施設貸出時間外の点灯を必要最小限に抑え、全館の照明スケジュールも定期的に見直すことや、利用後の点検などで節電に努めた。

また、空調（換気を含む）については、貸出時間外の施設も温湿度の一定程度の維持や感染症対策のため、稼働は必要ではあるものの、設定を間欠運転（稼働・停止を一定時間毎に繰り返す）とすることで、省エネルギーとの両立を図った。

- ▼札幌市環境マネジメントシステムに則り、エネルギー等の使用実績を集計し、省エネルギーの推進及び温室効果ガスの排出抑制に取り組んだ。
- ▽ 管理運営組織の確立（責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成）
 - ▼ 市民交流プラザ事業部長（館長）を施設の統括責任者として配置している。
また、各課で行う事業特性や業務量を考慮し、適切な人員配置を行い、安定的に運営を行った。
 - ▼ 基礎的・専門的知識の向上のため、以下の職員研修を実施した。
 - ・ 4月 新規採用職員研修
個人情報保護・セクシャルハラスメント防止研修
 - ・ 7月～8月 新任課長職・新任係長職研修
 - ・ 2月 メンタルヘルス研修
 - ・ 3月 普通応急手当講習
 - ・ 2～3月 管理職マネジメント研修
(個人情報保護・情報セキュリティ・SNSのリスクを知る)
コンプライアンス研修
(個人情報の扱いなど情報セキュリティを含む)
- ▽ 管理水準の維持向上に向けた取組
 - ▼ 財団管理の各施設をネットワークで結び、共用のグループウェアソフトを活用することで、迅速かつ効率的な情報共有・意思疎通を図っている。
また、財団共用の財務・会計システム利用により、予算執行状況の把握・各種伝票の起票を効率的に行っている。
 - ▼ 事業部内では職員だけではなく、清掃・警備・設備・舞台技術等の常駐委託業者とも上記グループウェアソフトを活用し、情報共有・連絡伝達を行っている。
情報共有の媒体を一元化することで、利用者・来館者への迅速かつ正確な対応に繋げている。
 - ▼ 各常駐委託業者と日常的に綿密な連絡体制を敷くことで、業務中に発生した問題等は速やかに報告を受け、対処を行った。
また、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染対策においても綿密に連携し、徹底した感染防止体制を敷くことで、安全・安心に利用できる施設となるよう努めた。
- ▽ 第三者に対する委託業務等の管理（業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認）
 - ▼ 業務仕様書に基づき、安全な施設運営を行うために必要な専門性を有する人

材の確保、及び適正な業務履行の徹底を要請した。

委託者側、受託者側双方に責任者を置き、常に業務の実施状況を共有したほか、受託者より提出を受けた業務完了報告書による履行確認を行った。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整（運営協議会等の開催）

▼ 市民交流プラザ施設運営協議会の開催

開催回	協議・報告内容
第1回 (R3.5)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の施設の利用状況について ・施設利用に伴うアンケートの集計結果について <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催</p>
第2回 (R3.9)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用状況について(令和3年4月～8月) ・施設利用に伴うアンケートの集計結果について <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催</p>
第3回 (R3.12.20)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用状況について(令和3年4月～11月) ・施設利用に伴うアンケートの集計結果について ・施設利用の促進・利便性向上の取組について <ul style="list-style-type: none"> ①劇場座席の抗菌加工について ②hitaru-wifiの整備について ③クリエイティブスタジオ紹介映像について
第4回 (R4.3)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用状況について(令和3年4月～令和4年2月) ・施設利用に伴うアンケートの集計結果について ・図書・情報館の取組について <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催</p>
<p><協議会メンバー></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元自治会： 中央地区町内会連合会総務部長 ・利用者： 音楽事務所代表 ・有識者： 大学教授 ・行政： 札幌市市民文化局文化部長 札幌市教育委員会 図書・情報館長 ・指定管理者： 市民交流プラザ館長 事業推進担当部長 	

▽ 財務（資金管理、現金の適正管理）

▼ 資金管理については、指定管理業務、自主事業ごとに区分した経理を実施しており、公認会計士による外部会計監査を導入している。

▼ 現金等の取り扱いについては、現金取扱要綱を策定し、分任出納員として任

命された職員による厳正な管理を行い、財団の内部監査や市による業務検査などで定期的な確認作業を行った。

- ▼ 現預金の入出金については、複数の職員による相互確認を実施し、不適切な処理が行われないようチェックした。

▽ 要望・苦情対応

- ▼ 要望・苦情は発生次第速やかに対応を検討し、担当する部署及び館長とも共有した上で、対応を行った。

また、利用者・来館者から寄せられた要望・苦情については関係する常駐委託業者とも情報共有を行い、利用サービスの向上に繋げた。

- ▼ ホームページにお問い合わせフォームを設け、問い合わせや要望・苦情が寄せられた際には、図書・情報館やその他の関係部署を交え対応を検討し、電子メール等で迅速な回答を行うとともに、今後の利用サービスの向上に繋げた。

- ▼ 市の関わりが必要と考えられる要望・苦情については迅速に市へ情報提供を行った。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価（記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施）

- ▼ 指定管理業務に関する下記の記録・帳簿等については適切に整備保管した。

- ・ 管理業務に関する諸規程
- ・ 文書管理簿
- ・ 各年度の事業計画及び事業報告書
- ・ 収支予算・決算に関する帳簿
- ・ 金銭出納に関する帳簿
- ・ 物品の受払いに関する帳簿
- ・ 各種業務に関する記録書類及び札幌市が必要と認める書類

- ▼ セルフモニタリングについては、来館者、利用者、主催事業の参加者の満足度を測定するため、アンケート調査を実施した。また、半年ごとに業務検査や財務検査を行い、業務に関する自己チェックを実施した。

- ▼ 札幌市への事業報告や事業評価等については、協定の定めに応じて提出をした。

2 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上

▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上

- ▼ 適正な内容で 36 協定を締結したほか、雇用環境の維持向上のため、関係法令に基づき財団諸規則等の見直しを行い、労働基準監督署に届け出た。

- ▼ 給与の額や支給方法等の雇用条件については、財団の例規として、職員、契約職員、パート職員の各々について就業規則を定めているほか、職員については別途給与規程を制定し明示している。これらを変更する場合には職員の過半数を代表する者の意見を聴取し、行政官庁への届出を行っている。また、賃金

台帳など法定帳簿等も整備している。

- ▼ 就業規則を含む例規集は、グループウェアソフトにより、常に各職員が閲覧可能な状態としている。
- ▼ 毎月の給与の計算や社会保険・労働保険関係の各種手続き等は、財団の総務部署を通じて社会保険労務士事務所に委託しており、労働関係法令改正への対応についても、社会保険労務士と相談して行っている。
- ▼ 当財団衛生委員会要綱に準じ衛生委員会を開催し、衛生管理者、産業医とともに労働災害の防止、職員の健康維持、職場環境の向上に努めている。
- ▼ 産業医の選任のほか、顧問弁護士も導入しており、これらの専門家による、心身の健康面、雇用、仕事以外の事柄も含めた個別相談に応じる体制を採っている。
- ▼ 労働環境を向上させるため、年5日以上の子次有給休暇の取得徹底や、業務の見直しなどによる時間外勤務の削減に努めた。
- ▼ 新型コロナウイルス感染対策の一環として、引き続き公共交通機関による出勤時の混雑回避のための時差出勤や、職員の接触機会削減のための在宅勤務を実施した。
- ▼ 財団における勤怠管理について、従来の紙媒体からシステムによる管理へ移行し、出退勤の時間や時間外勤務の状況等、各職員の正確な勤務状況の把握が可能となった。
- ▼ 労働災害・事故の発生はなかった

3 施設・設備等の維持管理業務

- ▽ 総括的事項（利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入）
 - ▼ 拾得物及び遺失物については、創世スクエア管理組合と情報共有を図り、利用者からの問い合わせに対して即時に対応できるよう努めている。なお、貴重品や、一定の保管期間が経過しても引き取りのない拾得物については最寄りの警察署または交番に引き渡し、適切な処理に努めている。
 - ▼ 施設の環境の改善と安全性向上のため、定期的な巡回や点検を行っている。特に、施設内の共用スペースにおいては多数の来館者が往来するため、防犯カメラを設置・運用することで、非常時に的確・迅速に対応ができるよう備えている。また、より一層の防犯・安全性向上のため、4階の防犯カメラ2台について、従来の角度固定式のものから可動式のものへと交換した。
 - ▼ 来館者の利便性向上のため、3階の館内誘導サイン(クリエイティブスタジオ・練習室・控室)を増設した。
- ▽ 施設・設備等の維持管理（清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等）
 - ▼ プラザ内の各施設（劇場、センター、諸貸室）において、計画的な清掃・警備を行い、美化・安全確保に努めた。また、備付備品や貸出備品についても、

定期的に点検を行い、常に利用者が最良の状態で使用できるよう維持・管理を行った。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、貸出施設や備品、利用者用ロッカー、エレベーター内操作盤等の消毒・換気には一層配慮して対応するとともに、令和2年度実施の託児室に加え、劇場客席(ひじ掛け・背もたれ木部)・手すりの抗ウイルスコーティング加工を実施し、安全性の向上に努めた。

▼ 施設設備については、日常点検だけではなく、不具合が発生した際にも早期発見・対応が可能なように設備保守の常駐委託事業者と密に連携を図った。

▼ 施設への搬出入用駐車場については、運用マニュアルを作成して管理運営を行い、警備員との連絡を密にして駐車場の利用者が安全かつ円滑に駐車できるように努めた。

▽ 防災

職員および委託事業者の防災意識の向上のため、10月に主に火災を、1月に主に地震を想定した防災訓練を行った。

訓練では、視覚的な記憶の定着を狙い、救助袋や消火器などの器具の使用方法や、避難経路を確認する映像を視聴するという手法を取り入れたほか、保守業者の方を招き、地震発生時のエレベーターの動作を模擬体験するなど、新たな取り組みを行った。

4 事業の計画・実施業務

▽ 札幌文化芸術劇場に関する事業

▼ 創造事業

hitaruを「創造の場」として、地元で活躍する様々な実演芸術団体との連携のもと札幌発の実演芸術公演を展開し、市民に質の高い文化芸術に触れる機会を提供した。令和5年度に本格始動する北海道発のバレエ創造事業「hitaru バレエプロジェクト」のプレ公演として「白鳥の湖」を実施。また令和元年度より実施してきたセルフプロデュース事業の集大成公演として「Creative Opera Mix」を劇場を会場に開催したほか、令和5年度に開催するhitaru オペラプロジェクト「フィガロの結婚」キャストオーディションを実施した。

○hitaru バレエプロジェクト プレ公演「白鳥の湖」

(公益財団法人日本バレエ協会との共催事業)

《関連事業》

- ・出演者オーディション
- ・有料アーカイブ配信

○Creative Opera Mix Vol.3 MASTER PIECES

《関連事業》

- ・有料アーカイブ配信

○hitaru オペラプロジェクト「フィガロの結婚」キャストオーディション

▼ 鑑賞事業

多面舞台と最新の舞台機能を生かし、世界水準のオペラ、バレエ、ダンスなど本格的な舞台芸術による「鑑賞の場」を多彩な内容で市民に提供した。また、親しみやすい内容の公演を低廉な入場料で開催し、幅広い層の市民に実演芸術の魅力を伝えた。

○ PLAZA FESTIVAL 2021 Daiwa House® PRESENTS 熊川哲也 Kバレエカンパニー Autumn Tour 2021「シンデレラ」(2公演)

《関連事業》

・クラスレッスン見学会

○Noism Company Niigata ストラヴィンスキー没後50年「春の祭典」 他

○ hitaru のひととき

・「Mi Tierra Andalucía ～私の地 アンダルシア～」

《関連事業》

・有料アーカイブ配信

・「ANUNA 神秘のケルティック・コーラス」(※新型コロナウイルスの影響により中止)

・「VR能 攻殻機動隊」

○文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業 2021 グランドオペラフェスティバル in Japan モーツァルト「魔笛」

○共催事業の誘致

これまで札幌での開催が少なかった魅力ある大規模公演等の誘致に向けた取り組みを進めた。

①ミュージカル「モーツァルト！」(令和3年5月14日(金)～17日(月))

入場者数：5公演計7,215人

②第二回さっぽろ落語まつり(令和3年5月28日(金)～30日(日))

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年5月29日(金)・30日(土)・31日(日)から延期。

入場者数：6公演計2,940人

③秋の特別公演 古典への誘い(令和3年9月4日(土)、5日(日))

入場者数：2公演計2,262人

④ミュージカル「マイ・フェア・レディ」(令和3年12月17日(金)～20日(月))

※出演者急逝のため、12月19日(日)、20日(月)の2公演は中止

入場者数：3公演計3,975人

- ⑤劇団四季のアンドリュー・ロイド＝ウェバー コンサート～アンマスクド～
(令和4年2月1日(火)、2日(水))
入場者数：3公演計3,593人

▼ 普及・育成事業

先進の舞台芸術を広く市民に紹介するとともに、舞台芸術活動の将来を担う世代の育成を目的に、多彩な芸術文化の提供と、教育的価値の高い事業を展開した。

- 青少年向けバレエ鑑賞事業(配信)
- クリエイティブスタジオ活用事業
 - ・シネマシリーズ4 映画へと導く映画(大九明子)(※新型コロナウイルスの影響により令和4年度に延期)
 - ・シネマシリーズ5 映画へと導く映画(濱口竜介)
 - ・hitaru×SCARTS 連携事業 高嶺格「歓迎されざる者～北海道バージョン」
《関連事業》
 - ・アーカイブ配信
 - ・藤田貴大「かがみ まど とびら」
《関連事業》
 - ・地図のワークショップ+α
 - ・All Sapporo professional Actors Selection Vol.3「暴雪圏」
- 札幌大谷大学・札幌文化芸術劇場 hitaru 連携事業
 - ・アートプログラム2021 第1回 バレエ「シンデレラ」見どころ・聴きどころ
 - ・アートプログラム2021 第2回 オペラ「魔笛」見どころ・聴きどころ
 - ・アートプログラム2021 第3回 バレエ「白鳥の湖」見どころ・聴きどころ

▼ 交流事業

札幌文化芸術劇場 hitaru、クリエイティブスタジオ、札幌文化芸術交流センターSCARTS、札幌市図書・情報館など、さまざまなジャンルの事業展開が可能な市民交流プラザの特性を活かし、多様な市民に参加・交流の場を提供して、多くの市民が文化芸術に触れることで施設のにぎわい創出につながる事業を実施した。

- PLAZA FESTIVAL 2021
 - ・Daiwa House® PRESENTS 熊川哲也 K バレエ カンパニー Autumn Tour 2021 「シンデレラ」(再掲)
 - ・札幌爆音映画祭
 - ・遠い誰か、ことのありか
 - ・++A&T05 キョウドウ体/syn 体ワークショップ成果展
 - ・「つむぐ-フライヤーでふりかえる hitaru と SCARTS の3年間」アーカイブ展
 - ・MORIHICO. マルシェ・ドウ・グルニエ×プラザマルシェ

・ひらめく DESIGN～企業のロゴから自社の商品開発まで～

▼ 舞台技術向上に向けた取組

全道の創造型劇場の中核として、舞台技術者の技術・技能の向上や知識・経験の共有を図るため、全道の舞台技術者を対象とした舞台技術セミナーを開催した。

- ①技術セミナーin hitaru d&b Soundscape Presentation (令和3年12月3日(金)) 参加者:36名
- ②第2回札幌文化芸術劇場 hitaru 舞台技術セミナー (令和4年3月10日(木)、11日(金)) 参加者:105名

また、高度な舞台機構や音響・照明設備を活用できる本劇場の舞台技術スタッフが他の劇場、音楽堂等及び実演芸術団体等と連携・協力し、地元の文化芸術の水準を高めるための取組として、舞台監督等の技術協力支援を行った。

- ①札幌舞踊会 本部お楽しみ会☆支部・カルチャー発表会 (令和3年5月15日(土)、16日(日)) 会場:札幌市教育文化会館 大ホール
- ②ちだとしこバレエスタジオ 第26発表会 (令和3年6月4日(金)、5日(土)) 会場:札幌市教育文化会館 大ホール
- ③DANCE STUDIO LoRe 発表会「BON VOYAGE vol.3」(令和3年7月9日(金)、10日(土)) 会場:札幌サンプラザコンサートホール
- ④小林絹恵バレエスタジオ10周年記念公演「眠れる森の美女」(令和3年8月17日(火)、18日(水)) 会場:札幌文化芸術劇場 hitaru
- ⑤第15回アンジュバレエスタジオ定期発表会 (令和3年9月24日(金)、25日(土)) 会場:帯広市民文化ホール 大ホール
- ⑥小泉のり子バレエスタジオ発表会 (令和3年10月9日(土)、10日(日)) 会場:札幌市民ホール
- ⑦2021 北海道現代舞踊フェスティバル in さっぽろ (令和3年11月23日(火・祝)) 会場:北海道立道民活動センター かでるホール
- ⑧Farewell12021 くるみ割り人形 (令和3年12月16日(木)～18日(土)) 会場:札幌市教育文化会館 大ホール

▽ 札幌文化芸術交流センターに関する事業

▼ 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業誰もが気軽に文化芸術に触れられる場や機会を創出し、都心部ににぎわいを生み出すような事業を展開した。また、地元アーティストやアート以外の分野の人材との連携などにより、札幌ならではの特徴的な事業を構築し、札幌の魅力と SCARTS の認知度を高めた。

○ 遠い誰か、ことのありか

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため会期短縮

〈関連プログラム〉

・ SCARTS×SIAF ラボ アートエンジニアリングスクール

「Backstage Pass to SCARTS / ONLINE」

- ・アーティストトーク
 - ①クワクボリョウタ×岡碧幸、②やんツー×大橋鉄郎
 - ・アーティスト×研究者トーク
 - クワクボリョウタ×渡邊淳司
 - ・キュレーターによるギャラリーツアー
 - 「遠い誰か、ことのありか」 / ++A&T05 「キョウドウ体 / syn 体」
 - ・SCARTS アートコミュニケーター「ひらく」×SIAF 部の展覧会ガイド
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

○ SCARTS ステージシリーズ

- ・vol. 005 ランチブレイクの“アフター”ランチブレイク
- ・vol. 006 大学連携コンサート 北海道教育大学岩見沢校
 - 「東欧・弦の響きトリオとデュオによるロマン派 ～近代の作品を集めて」
- ・vol. 007 劇団千年王國「からだの贈りもの」
- ・vol. 008 大学連携コンサート 札幌大谷大学「ラテン音楽の調べ」
- ・vol. 009 平原慎太郎ダンス「よるね よるこい よる」

○ hitaru×SCARTS 連携事業

高嶺格「歓迎されざる者～北海道バージョン」〈再掲〉

○ ++A&T SCARTS ART & TECHNOLOGY Project (プラプラット)

- ・++A&T 04 CoSTEP×SCARTS×札幌の高校生たち
 - 「バイオの大きさ／未来の物語」ワークショップ成果展
 - 〈再掲〉
 - ・++A&T 05 クワクボリョウタ×SCARTS×札幌の中高生たち
 - 「キョウドウ体 / syn 体」ワークショップ
 - ・++A&T 05 クワクボリョウタ×SCARTS×札幌の中高生たち
 - 「キョウドウ体 / syn 体」ワークショップ成果展
 - 〈関連プログラム〉
 - ・「syn 体」再起動祭
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
- ・++A&T 06 大和田俊×SCARTS×CoSTEP×札幌の高校生たち
 - 「地球をかたづける」ワークショップ
 - ・++A&T 06 大和田俊×SCARTS×CoSTEP×札幌の高校生たち
 - 「地球をかたづける」ワークショップ成果展

○ 連携事業

- ・第 50 回記念札幌文団協フェスティバル 展示部門
- ・NoMaps2021

- ・弦巻楽団×CoSTEP「オンリー・ユー」
- ・さっぽろアートステージ 2021「キッズアートフェス」
 <関連プログラム>
 - ・ワイヤーでアートしよう！こどもワークショップ
 - ・こどもたちが考えたハンバーガーを映像にする
 ワorkshop 新しいハンバーガーを作ろう！
 - ・家にあるいらなくなったプラスチックでつくる
 箱庭ワークショップ
 - ・理想のお家をアーティストと一緒につくろう！
 お家や庭にほしいものの絵大募集！
- ・アートボランティアウィーク@SCARTS
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
- ・Marché de GRENIER (マルシェ・ドウ・グルニエ)
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

- ・SCARTS×SIAF ラボ アートエンジニアリングスクール
 <Backstage Pass>
 - 「Backstage Pass to YCAM / ONLINE」
 - 「Backstage Pass to SCARTS / ONLINE」 <再掲>
 - 「Backstage Pass to NTT ICC / ONLINE」
 <Art Engineer File>
 - ・彫美連続講座 2021 <再掲>
 - ・第8回 北から暮しの工芸祭
 - ・さっぽろ天神山アートスタジオクロストーク
 「パンデミックとアーティスト・イン・レジデンス」
 - ・北海道卒業設計合同講評会 2022

- SCARTS×SIAF ラボ冬の展覧会 2022
 「都市と自然とデータとかたち」
 <関連プログラム>
 - ・ギャラリートゥアー
 - ・トークイベント「都市と自然と R&D」

- SCARTS インフォメーションカウンター

- 文化芸術に関する情報発信

- 西2丁目地下歩道映像制作プロジェクト

- PLAZA FESTIVAL 2021「MORIHICO. Marché de GRENIER

(マルシェ・ドゥ・グルニエ) ×プラザマルシェ」〈再掲〉

▼ 文化芸術活動支援事業

市民やアーティスト等の活動活性化やキャリアアップなどを念頭に、文化芸術情報を収集・発信できる場を提供するとともに、文化芸術に関する悩みなどの相談も受け付けた。

また、文化芸術に関わる方々を対象とした講座の開催やアートと人々をつなぐボランティアな活動を支援するなど、札幌で文化芸術活動が行いやすくなるような環境を提供した。

さらに、令和3年度からは、これまで札幌市において実施していた助成金交付事業を引き継いで、新たな制度としてスタートさせた。

○ 対面相談サービス

○ SCARTS レクチャーシリーズ

〈SCARTS レクチャーシリーズ〉

- ・Vo1.6 「心に触れる広報術。」

〈バトン ―創造性を刺激する、読書のためのトーク

セッション〉

- ・「20XX年の革命家になるには― スペキュラティブ・デザインの授業」
- ・「法のデザイン 創造性とイノベーションは法によって加速する」
- ・「炭鉱と美術 旧産炭地における美術活動の変遷」

〈forARTIS〉

- ・vo1.4 「確定申告や助成金について知りたい！
アーティストのためのお金の知識」
- ・vo1.5 「作品と制作者の権利を守りたい！アーティストの
ための法律相談所」

○ SCARTS アートコミュニケーション事業

- ・講座 全18回
- ・実践活動
- ・鑑賞レポート

○ 公募企画事業

- ・CE:Meets ライブクラフト～ダンボールハウスバトル～
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
- ・三原順の世界展～生涯と復活の軌跡～

〈関連プログラム〉

- ・トークイベント「三原順のことばを考える」

- ・トークイベント「順さまのワイワイ仕事場（あるいはシュラバ）」
- ・トークイベント「北海道マンガミュージアムを！」
- ・艾沢詳子+青木広宙 —PLATFORM

〈関連プログラム〉

- ・トークセッション「プラットフォーム上に“たゆたう”オリジナリティ」
- ・ONE～ひとりの女性～

〈関連プログラム〉

- ・アーティストトークショー

○ 文化芸術交流センターSCARTS 文化芸術振興助成金交付事業

▼ 文化芸術に関する調査研究事業

文化芸術活動を発展させるうえで欠かせない、国や他都市の動向や先進的な文化芸術活動などに関する基礎的な調査や研究を行った。また、SCARTS において実施してきた事業を中心とした、これまでの取組に関するデータや記録などを、活用しやすい形で整理・保存した。

○ 調査研究

- ・つむぐーフライヤーでふりかえる hitaru と SCARTS の 3 年間

〈関連プログラム〉

- ・トークイベント「ライブ配信・アーカイブ配信のための著作権セミナー」
- ・トークイベント「「つむぐーフライヤーでふりかえる hitaru と SCARTS の 3 年間」を通して考えるアーカイブ」

○ SCARTS レポート

5 施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

		R 元年度実績	R2 年度実績	R3 年度計画	R3 年度実績
劇場	件数(件)	226	150	127	234
	人数(人)	352,325	65,665	—	195,294
	稼働率(%)	72.6%	58.4%	80%	79.9%
クリエイティブスタジオ	件数(件)	294	158	77	230
	人数(人)	34,031	12,043	—	17,301
	稼働率(%)	82.4%	53.5%	75%	71.2%
練習室等	件数(件)	3,331	2,396	914	3,220
	人数(人)	36,407	16,106	—	22,086
	稼働率(%)	63.1%	51.8%	60%	59.7%
センター	件数(件)	2,587	1,601	453	1,899

	人数(人)	315,427	54,842	—	51005
	稼働率(%)	80.9%	65.4%	75%	63.3%

▽ 不承認 0 件、取消し 217 件、減免 2,363 件、還付 356 件

▽ 利用促進の取組

▼ 一斉受付実施の告知

ホームページにて、次回の一斉受付の告知を毎月行った。

▼ クリエイティブスタジオ見学会の告知と実施

舞台技術者同席のもと、年間 4 回（うち 2 回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）の見学会を実施し、のべ 89 人の参加があった。

▼ 練習室・控室の利用促進を図るため、昨年度に引き続き P R チラシを作成し、市内公共施設や創成スクエア管理組合等に配布を依頼し、P R に努めた。

▼ 利用者からのご要望の改善

利用者アンケートに基づき、利用者からのご要望のあった点を共有するとともに、改善に向けて検討を行った。

6 付随業務

▽ 広報業務

▼ 広報

①事業広報との連携強化

公演・イベントの周知、チケット販売促進や、施設入館者数の目標達成を目指し、情報誌等の印刷物やホームページ、SNS 等の多様な媒体を活用して、札幌市民交流プラザの機能や事業の広報を積極的に行った。

(1) 地下鉄パンフレット広告

主要駅の地下鉄フリーパンフレットコーナーにて、情報誌「WAVE TIMES」や「PLAS」、主催公演チラシ等を配架した。

(2) 協賛広告枠の活用

札幌文化芸術劇場 hitaru オフィシャルスポンサー企業の広告協賛等を活用し、地下鉄大通駅コンコース及び地下街オーロラタウン、丘珠空港、市内大型スーパーマーケット、路線バス車内等において動画の放映やチラシの配架、ポスター広告の掲示等を行った。

②広報印刷物の制作

(1) 情報誌「WAVE TIMES」

札幌市民交流プラザの情報誌「WAVE TIMES」を 4 回（5 月、8 月、11 月、2 月）発行し、区役所等の市内公共施設や関係団体へ送付したほか、公演・イベント会場等でも広く配布した。

(2) イベントスケジュール冊子「PLAS」

札幌市民交流プラザを構成する3施設の公演・イベントを掲載するスケジュール冊子「PLAS」を6回(5月、7月、9月、11月、1月、3月の各月20日)発行し、区役所等の市内公共施設や関係団体へ配布した。

(3) 「創成おさんぽ MAP」

近隣地域のにぎわいを醸成するため、札幌市民交流プラザメンバーズ会員向け特典提供店を紹介する地図形式の冊子を作成し、メンバーズ(DM会員)に送付したほか、協力店舗や札幌市民交流プラザ館内各所で配架した。また、利用促進のため、SNSを活用した「#おさんぽ MAP キャンペーン」を新たに実施した。

③ホームページ

(1) ホームページの改善・SNSの活用

ホームページを通じて、主催事業や貸館公演などのイベント情報を随時発信し、広く札幌市民交流プラザの周知を図るとともに、英語ページも作成し、外国人向けに情報発信を行った。ウェブアクセシビリティへの対応にも留意し、JISX8341-3:2016の適合レベルAA準拠を維持した。

また、Twitter、FacebookといったSNSも活用し、即時性のある情報を発信した。

- ・ホームページアクセス数

令和3年度:1,468,110件

(参考) 令和2年度:664,937件

▼ 利用促進

①施設利用に関するチラシの発行

札幌文化芸術劇場 hitaru 及び札幌文化芸術交流センター SCARTS 諸室の貸館利用促進に向け、地元興行主との情報交換を密にするほか、「ご存じですか? プラザの貸室使い方いろいろ」を配布して会議や練習での利用を促した。

②会員制度

(1) 会員制度の募集及び運営

主催公演のチケット先行発売や公演情報の提供などを特典とする会員制度「札幌市民交流プラザメンバーズ」を運営。令和4年3月31日までにWEB会員38,674人、DM会員734人、計39,408人の会員を集めた。

(参考) 令和2年度:WEB会員27,979人、DM会員877人、計28,856人

(2) 会員特典

- ・メールマガジン配信 (WEB会員向け、原則1ヶ月に2回)
- ・ダイレクトメール送付 (DM会員向け、原則奇数月)
- ・hitaru 主催公演のチケット先行発売
- ・プラザ内カフェ・レストランでの優待
- ・近隣のホテル・飲食店等での各種優待

- ・施設見学会の企画（新型コロナウイルス感染拡大防止のため不開催）
- ・避難訓練コンサートの企画（新型コロナウイルス感染拡大防止のため不開催）
- ・リハーサル見学の実施（令和3年10月2日（土）「Kバレエカンパニー『シンデレラ』」）

③協賛制度の募集及び運営

札幌文化芸術劇場 hitaru の主催共催事業の充実を目的とする「hitaru オフィシャルスポンサー」制度を運営。

令和3年度のスポンサーとして、法人98社、個人46人、計144件（現金協賛9,187万円、広告協賛3,030万円相当）の協賛を獲得した。

▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等

▼ 市内企業等の活用

施設の管理運営に必要な再委託業務について、概ね札幌市内に事業所を有する企業に発注した。

▼ 福祉施策への配慮

広報用封筒の制作作業を、近隣の福祉施設に発注した。

また、設置している自動販売機のうち1台を、札幌市内の社会福祉団体に依頼した。

7 利用者へのアンケート、利用者等からの主な意見、要望等

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法	施設を利用する主催者および主催事業の来場者へアンケート用紙を配布するほか、館内にアンケート台を設置。施設・設備の使い勝手の良さや、職員対応等に対する意見・要望の把握に努めた。
結果概要	貸館利用者・主催事業の来場者の施設に対する総合的な満足度は93.8%、職員対応の満足度は96.3%であった（「満足」「おおむね満足」「普通」合計）。 また、貸館利用者の96.6%が「また利用したい」と回答した。 全体回答数：3,207件
利用者からの意見・要望とその対応	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも清潔な施設で使用しやすい ・スタッフが親切で対応が良い ・WEB予約ができるようにしてほしい ・キャンセルが90日前というのは長すぎる。→令和4年度より一部変更 ・Wifiが使用できると良い→4階控室利用者が使用できるよう整備済

II 管理業務に係る収支決算

▽ 収支

(千円)

項目	R3年度計画	R3年度決算	差(決算-計画)
収入	1,340,926	1,590,085	249,159
指定管理業務収入	1,325,574	1,576,665	251,091
指定管理費	1,031,145	1,189,542	158,397
利用料金	178,607	200,343	21,736
その他	115,822	186,780	70,958
自主事業収入	15,352	13,420	▲ 1,932
支出	1,380,566	1,351,285	▲ 29,281
指定管理業務支出	1,360,769	1,336,554	▲ 24,215
自主事業支出	19,797	14,731	▲ 5,066
収入-支出	▲ 39,640	238,800	278,440
利益還元			0
法人税等			0
純利益	-39,640	238,800	278,440

▽ 説明

- ▼ 指定管理費について、今期は令和2年6月～令和3年10月分の施設キャンセルに係る補填金を受けたことにより、増収となった。
- ▼ 収入については、新型コロナウイルスの影響による施設利用制限はあったものの、一定条件下で公演の収容人数制限が50%→100%へ解除されたこともあり、公演の実施件数が増え、当初計画より貸室稼働率が上昇したため、利用料金収入が大幅に増加した。
- ▼ 支出については、事業打合せにオンライン会議を用いることで旅費を削減、イベント周知においてもコロナの状況を鑑み範囲を最小限としたことで、印刷物等の費用削減に努めた。
- ▼ 上記の費用削減に努めつつ、オンライン会議目的での貸室利用の増加に伴い、全貸室でのネット接続を可能とするため、4階貸室に専用wifiを増設、3階貸室にLANの増設工事を行い、より快適で充実した施設となるよう環境整備を図った。

Ⅲ 管理に関する協定書 第33条に規定する自主事業の実施状況

1 飲食・物販事業

▽ カフェ、レストラン事業

施設の賑わいの創出とともに寛ぎの空間を提供することを目的に、カフェ「MORIHICO. 藝術劇場」及びレストラン「DAFNE」を営業。令和3年度より、レストラン「DAFNE」にてお節の販売を開始したほか、さっぽろ創世スクエア管理組合にも協力を仰ぎ、創世スクエアオフィス棟に入居する企業にも新メニューのフライヤーをポスティングするなど、施設全体で新たな客層の開拓に力を入れた運営を行った。